



街頭キャンペーンに参加する志賀中学校生徒会、志賀高校生徒会、保護司会並びに関係者の皆さん

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ 【社会を明るくする運動】にかか事業を実施

7月4日(火)に、羽咋保護区保護司会志賀支部の8人が小泉町長と福田晃悦町議会議長を訪ね、第73回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式が執り行われ、代表して保護司の寺西孝文さんがメッセージを読み上げました。
この運動は、全ての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更正について理解を深め、力を合わせて安心安全な地域社会を築くための全国的な運動です。小泉町長は「犯罪や非行のない社会、安心安全な地域づくりを一緒に進めていきたい」と話しました。同日、志賀中・志賀高校生徒会、保護司会などの皆さんで商業施設に出向き、街頭キャンペーンを実施しました。



内閣総理大臣メッセージを読み上げる保護司会の寺西さん



馳県知事と室谷さん

福浦港の室谷 加代子さん いしかわ男女共同参画推進功労者知事表彰を受賞

6月24日(土)、石川県女性センターで、福浦港の室谷加代子さんが「いしかわ男女共同参画推進功労者知事表彰」を受賞しました。
室谷さんは、平成11年から、県男女共同参画推進員を務め、地区公民館で「男性の料理教室」を開催。料理を通して気運の醸成に貢献するほか、地産地消の農家レストランを開業し、地域の魅力を発信するとともに、女性の社会参加を体現してきました。
今後も、町の男女共同参画づくりの輪を広げるよう更なる活躍が期待されます。

第8回県下女性太鼓打競技加茂大会 女性太鼓、華麗に47組競う

7月16日(日)、旧加茂小学校体育館で県下女性太鼓打競技加茂大会が4年振りに開催され、七尾、輪島、志賀、宝達志水各市町から計47組が会場。中学生以上の大人大会に11団体23組、小学生以下の子供大会に5団体24組が会場し、華麗で力強い演奏を披露しました。

〔大人大会〕	大関	輪島キリコ太鼓保存会絆 A (浜岸 凜夏、浜岸 瀬菜)
	関脇	富木神幸太鼓 A (宅田 玲、宅田 瑛)
	小結	土田紋六太鼓 A (辻口 璃乙、山沢 未結)
〔子供大会〕	大関	増穂八幡太鼓 A (端野 柚珠葵、向 柚葵)
	関脇	富木神幸太鼓煌 (安田 姫彩、飯山 希和)
	小結	増穂八幡太鼓 C (向 柚葵、端野 柚珠葵)



上位入賞の皆さん



1億円分のレプリカケースの重みを感じる児童

町内小学校6年生133人

租税教室で税金の大切さを学習

5月29日(月)に富来小学校の6年生22人が、6月22日(木)に志賀小学校の6年生111人が、税金の種類や大切さについて学ぶ租税教室に参加しました。

町税務課や税務署の職員が講師を務め、消費税のしくみをはじめ、税金の“ある町”と“ない町”の違いや学校の教科書にも税金が使われていることを学習しました。

児童らは、講師が持参した重さが10kgある1億円のレプリカケースを手に取り、税金の重みを身をもって体験しました。

NPO法人日本中国朱鷺保護協会

トキの絵本とポスターを小学校などに贈呈

7月10日(月)、NPO法人日本中国朱鷺保護協会の橋本健一会長と松井元雄副会長が、間嶋教育長を訪れ、トキの絵本とポスターを小学校などに11部ずつ贈呈しました。

新潟県佐渡市発行の絵本「ねえトキって知ってる?」は、トキの生態から人間とトキの共存について学びます。ポスターは、空に羽ばたくトキと「ニッポンを、もういちど日本の空へ」とメッセージが入っています。

橋本会長は「トキのエサ場や巣作りできる環境作りのためにも、次世代の子どもたちにトキのことを知ってほしい」と話しました。教育長は「学校のふるさと学習の時間などで、教材として生かしていきたい」と答えました。



トキの絵本とポスターを寄贈する橋本会長と松井副会長



小泉町長に県大会出場を報告する西増穂分団・土田分団の皆さんと同行した志賀町消防団松本弘人団長

西増穂分団・土田分団

石川県消防操法大会出場を報告

6月17日(土)、羽咋郡市消防団連合会連合訓練大会が開催され、ポンプ車操法の部で優勝した西増穂分団と準優勝した土田分団が6月23日(金)に小泉町長を訪ね、7月29日(土)に開催する県大会の出場を報告しました。西増穂分団の室津司分団長は「上位目指して頑張る」と話し、土田分団の安田真也分団長は「優勝の2文字」と意気込みを伝えました。小泉町長は「けがのないよう練習に励み、志賀町消防団ここにありを見せてください」と激励しました。

なお、西増穂分団は3回連続、土田分団は8回連続の県大会出場となります。

志賀町無形民俗文化財「嫁ほめ詞」の保存会メンバー

土田地区敬老会で嫁ほめ詞を披露

6月25日(日)、土田地区敬老会が旧土田小学校体育館であり、式典後のお楽しみ会で、館開に伝わる「嫁ほめ詞」を保存会メンバーが披露しました。花嫁のれんをくぐって腰元に手引きされた花嫁が登場。林一夫保存会会長が「嫁ほめ詞」の歴史とかつての結婚式の風習を解説した後、赤御膳を前に、よばれ役の男衆たちが、順に「やっちゃんやっちゃん」と声を上げ、花嫁を褒め上げた亭主役の口上を、工夫をこらした例えをはさみながら褒め上げました。

※「やっちゃん」とは「弥生^{いやさか}」がなまった、繁栄をことほぐ言葉。



舞台上に金屏風と花嫁のれんを用意し、嫁ほめ詞を披露した